

北見工業大学学報

第264号 (2014年7月号)

目 次

入 試	平成26年度大学院工学研究科博士後期課程転入学要項(秋季入学)を公表・・・	3
	平成27年度入学者選抜要項の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	平成27年度編入学試験の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
研 究 助 成	平成26年度共同研究の受入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	平成26年度受託研究の受入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	平成26年度奨学寄附金の受入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
人 事	人事異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
受 賞	情報システム工学科・榊井文人准教授が観光情報学会全国大会優秀賞を受賞・・・	10
諸 報	板東文部科学審議官が北見工業大学を視察・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	平成25年度教育優秀者表彰式を実施・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	東北地区進学相談会を実施・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	父母懇談会(春季・北見)を開催・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	ブックリユース「本、さしあげます。」を開催・・・・・・・・	15
	「研究室公開」を実施・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	置戸町第38回人間ばん馬大会に参加 ―地域への貢献―	17
	図書館防火訓練を実施・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	技術セミナー(CPDプログラム認定講座)の開催・・・・・・・・	20
	「学生選書ツアー」を実施・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	技術セミナー「技術士養成支援講座」の閉講式・・・・・・・・	22
第61回北見ぼんちまつり舞踊パレードに参加・・・・・・・・	23	

	テクノトランスファーinかわさき 2014 へ出展.....	24
	第 2 回オホーツクまるごと市に参加.....	25
	北洋銀行ものづくりテクノフェア 2014 で研究の成果を広報.....	26
	オープンキャンパスを開催.....	27
目 誌	6 月・7 月.....	28

= 入試 =

平成 26 年度大学院工学研究科博士後期課程転入学要項 (秋季入学) を公表

(入 試 課)

平成 26 年度大学院工学研究科博士後期課程転入学要項 (秋季入学) を公表しました。
概要は以下のとおりです。

専 攻	生産基盤工学専攻 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 医療工学専攻
出 願 資 格	本学以外の大学院博士後期課程に在学し、在学する大学院において博士論文審査を申請していない者で、平成 26 年 10 月 1 日における在学期間が在学する大学院の定める修業年限を超えない者
出願資格の 事前審査	平成 26 年 6 月 23 日 (月) ~平成 26 年 6 月 27 日 (金)
出 願 期 間	平成 26 年 7 月 28 日 (月) ~平成 26 年 8 月 1 日 (金)
選 抜 方 法	面接 (口頭試問) 及び出願書類等の審査結果を総合して行う
試 験 日	平成 26 年 8 月 27 日 (水)
合 格 発 表	平成 26 年 9 月 3 日 (水)

平成 27 年度入学者選抜要項の公表

(入 試 課)

平成 27 年度入学者選抜要項が公表されました。概要は以下のとおりです。

○入学定員（募集人員）

系・学科名		入学定員	募集人員		
			前期日程	後期日程	推薦入試
機械・社会環境系	機械工学科	160 人	64 人	56 人	40 人
	社会環境工学科				
情報電気エレクトロニクス系	電気電子工学科	140 人	63 人	42 人	35 人
	情報システム工学科				
バイオ環境・マテリアル系	バイオ環境化学科	110 人	46 人	36 人	28 人
	マテリアル工学科				
工学部合計		410 人	173 人	134 人	103 人

※ 入学後1年間は各系に所属し、2年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

注① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別入試の募集人員若干人を含みます。

② 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

○選抜方法等

一般入試

	前期日程	後期日程
選抜方法	大学入試センター試験の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。	大学入試センター試験の成績、本学が行う個別学力検査の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。
出願期間	平成27年1月26日(月)～平成27年2月4日(水)	
試験日	個別試験は課さない	平成 27 年 3 月 12 日(木)
合格発表	平成27年3月6日(金)	平成 27 年 3 月 20 日(金)

推薦入試

選抜方法	学校長より推薦された者について，基礎学力確認試験，面接の結果及び出願書類の内容を総合して行う。
出願期間	平成 26 年 11 月 4 日（火）～ 平成 26 年 11 月 10 日（月）
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成27年3月卒業見込みの者で，次の二つの条件を満たし，かつ志望する系への能力・適性等について学校長が責任を持って推薦できるもの</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ，特に数学，理科の成績が優秀な者</p> <p>② 志望する系の分野に強い勉学意識と関心を持ち，大学での学習において優れた成果が期待できる者</p>
選抜期日	平成 26 年 11 月 28 日（金）
合格発表	平成 26 年 12 月 10 日（水）

帰国子女特別入試

選抜方法	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し，基礎学力確認試験，面接の結果及び出願書類の内容を総合して行う。
出願期間	平成 26 年 11 月 4 日（火）～ 平成 26 年 11 月 10 日（月）
出願要件	略
選抜期日	平成 26 年 11 月 28 日（金）
合格発表	平成 26 年 12 月 10 日（水）

平成 27 年度編入学試験の実施

(入 試 課)

平成 27 年度編入学試験（学力試験入試）が実施され、各学科別の合格者数等は下表のとおりとなりました。

なお、編入学試験（推薦入試、社会人特別入試）については志願者がいなかったため、実施されませんでした。

学科名	学力試験入試			
	募集人員	志願者	受験者	合格者
機 械 工 学 科	若干人	0	0	0
社 会 環 境 工 学 科		1	1	1
電 気 電 子 工 学 科		2	2	0
情 報 シ ス テ ム 工 学 科		0	0	0
バ イ オ 環 境 化 学 科		0	0	0
マ テ リ ア ル 工 学 科		1	1	1
合 計		4	4	2

= 研究助成 =

平成26年度共同研究の受入状況

平成26年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民 間 機 関 等
電気電子工学科	助教	杉坂 純一郎	境界要素法を用いた電磁波厳密計算に関する研究	株式会社東芝 生産技術センター
マテリアル工学科	准教授	伊藤 英信	光触媒フィルターに関する研究	一般社団法人北見工業技術センター運営協会
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	寒冷地の効率的浄水処理に関する研究	北見市企業局
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	廃プラスチック等のガス化メカニズムに関する研究	JFEスチール株式会社
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	積雪寒冷地用クリーン分散エネルギー電力制御システムの研究	リコーITソリューションズ株式会社
社会環境工学科	准教授	川口 貴之	抗菌剤配合の暗渠パイプを用いた水酸化鉄の付着軽減可能性の検証	三井化学産資株式会社
社会環境工学科	准教授	舘山 一孝	廃トンネル内雪室の冷熱エネルギーを利用した農作物の貯蔵	オホーツク新エネルギー開発推進機構
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	橋梁維持管理におけるモニタリングデータの貯蔵と活用に関する研究	株式会社豊水設計
マテリアル工学科	准教授	宇都 正幸	農業用資材梱包用ポリマーの耐寒性評価	ホクレン包材株式会社
応用研究推進センター	特任教授	山岸 喬	道産農産物の機能成分の分析と商品企画	日生バイオ株式会社
社会環境工学科	教授	川村 彰	簡易IRI測定装置を利用した局所的な路面損傷評価手法の検討	株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道
社会環境工学科	教授	川村 彰	簡易IRI測定装置を利用した路面プロファイル評価手法の検討	株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道
機械工学科	教授	鈴木 聡一郎	日本人の骨格に適合したスキーブーツ設計に関する研究	株式会社レクザム
マテリアル工学科	教授	南 尚嗣	北見市における下水汚泥及び放流水のモニタリング調査研究	北見市企業局
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	下水汚泥の堆肥化に関する研究	北見市企業局
マテリアル工学科	助教	坂上 寛敏	北見市浄化センター臭気成分の定量に関する研究	北見市企業局
マテリアル工学科	助教	坂上 寛敏	スクラムミックスセンター臭気成分の定量に関する研究	北見市企業局
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	北見発のメタン直接改質技術による水素・ナノ炭素併産及び持続的高度利用	オホーツク新エネルギー開発推進機構
社会環境工学科	准教授	井上 真澄	機能性コンクリートに適用する化学混和剤の研究	日産化学工業株式会社 化学品事業部

平成26年度累計60件

平成26年度受託研究の受入状況

平成26年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目	委託機関	所要経費 円
社会環境工学科	准教授	館山 一孝	「平成26年度IARC-JAXA情報システム(IJIS)及び衛星データ等を利用した北極圏第4期研究「海水分野」のうち海水厚(厚氷域)アルゴリズムの開発・改良と現場海水厚観測	国立大学法人東京海洋大学	1,300,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	生物多様性を確保するための最適横断面形状と水量に関する研究	国立大学法人北海道大学	1,000,000
社会環境工学科	准教授	駒井 克昭	釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環評価手法に関する研究	釧路開発建設部	1,529,000
社会環境工学科	助教	吉川 泰弘	結氷河川における晶氷の発生予測と取水障害対策の開発	旭川開発建設部	1,630,800

平成26年度累計6件

平成26年度奨学寄附金の受入状況

平成26年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄附目的	寄附者	寄附金額 円
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	橋梁モニタリング技術の開発研究のため	株式会社フジエンジニアリング	800,000
社会環境工学科	准教授	井上 真澄	コンクリートの凍害とアルカリ骨材反応との複合劣化に関する資料収集	株式会社フジエンジニアリング	300,000
機械工学科	教授	大橋 鉄也	「鉄鋼インフォマティクス」に関する研究助成	一般社団法人 日本鉄鋼協会	100,000
社会環境工学科	教授	高橋 清	工学研究のため	日本工営株式会社 コンサルタント国内事業本部	300,000
機械工学科	教授	鈴木 聡一郎	スキーブーツ設計に関わる工学研究のため	株式会社レクザム	100,000
	学長	高橋 信夫	学生に対する支援他	北見工業大学後援会	308,824
機械工学科	助教	高井 和紀	住宅室内空気質の分析調査	特定非営利活動法人日本VOC測定協会	100,000
社会環境工学科	教授	高橋 清	工学研究のため	株式会社ドーコン	300,000
社会環境工学科	教授	中山 恵介	工学研究のため(臭気要因特定に関する解析)	株式会社グリーンズ北見	400,000
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	工学研究のため(臭気要因特定に関する解析)	株式会社グリーンズ北見	600,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	研究のため	一般財団法人 北海道河川財団	1,000,000
マテリアル工学科	准教授	伊藤 英信	工学研究に対する研究助成	野村興産株式会社 イトムカ鉱業所	100,000
	学長	高橋 信夫	大学広報等への支援他	北見工業大学後援会	716,000

平成26年度累計27件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
26.7.1	学生支援課副課長(係長兼務)	斉藤 順	学生支援課副課長
〃	学生支援課副課長	藤田 美代子	学生支援課副課長(係長兼務)
〃	研究協力課係長	八木澤 学	財務課係長
〃	学生支援課係長	長谷川 麻美	財務課係長
〃	財務課専門職員	森本 典宏	施設課係長
〃	施設課係長	松沼 拓夫	研究協力課係長
〃	財務課係長	内山 彰	学生支援課専門職員
〃	財務課係長	工藤 圭輔	学生支援課係長
〃	財務課事務職員	和田 恵佳	企画広報課事務職員
〃	学生支援課事務職員	秋元 宏太	財務課事務職員
〃	入試課事務職員	森原 早紀	財務課事務職員
〃	財務課事務職員	佐藤 匠	学生支援課事務職員
〃	企画広報課事務職員	反保 聡史	入試課事務職員

= 受賞 =

情報システム工学科・榊井文人准教授が

観光情報学会全国大会優秀賞を受賞

(情報システム工学科)

6月20日(金)、21日(土)に東京大学柏キヤンパスにて開催された第11回観光情報学会全国大会において、情報システム工学科の榊井文人准教授が講演し、大会優秀賞を受賞しました。榊井准教授の研究は、地元旅館大江本家との産学連携によって進め

られているもので、今回は宿泊施設の活性度を測る客観的指標の提案に加え、指標を用いたオホーツク圏の宿泊施設の比較分析によってその現状と課題を明らかにしたことが評価されました。



<受賞論文>

- ・第11回観光情報学会全国大会 優秀賞

「宿泊施設の観点に着目した施設活性度の定量化と分析」

榊井文人, 大江友広, 佐藤亮弥, プタシンスキ・ミハウ, 升井洋志, 後藤文太朗, 前田康成

＝諸報＝

板東文部科学審議官が北見工業大学を視察

(総務課)

板東久美子文部科学審議官と国立大学法人支援課 小笠原義人支援第一係長が、6月5日(木)に本学を視察されました。

板東文部科学審議官らは、本学のミッションとなっている表層型ガスハイドレート研究や日本に1台しかないスキーシミュレータによるスキーブーツの開発などを見学され、担当教員の説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

引き続き、3月末に竣工した女子寮(北桜

寮)の記念植樹、5月末に竣工した第3総合研究棟の内覧会に参加され、視察終了後には、本学の教職員を対象に「国立大学への期待」と題し、講演を行っていただきました。

講演には、100人近くの教職員が出席し、国立大学への社会の期待や国立大学改革の重要性を改めて認識する有意義な機会となりました。



記念植樹の様子



ご講演される板東文部科学審議官

平成25年度教育優秀者表彰式を実施

(学生支援課)

6月10日(火)、平成25年度教育優秀者表彰式を実施しました。

教育優秀者表彰には「ベストティーチング賞」と「エクセレントプログラム賞」の2つの賞があり、今回両方の表彰が行われました。

「ベストティーチング賞」は平成13年度に創設されたもので、今回は平成25年度に実施した学生による授業評価の結果、授業に対する準備、熱意、指導などが顕著であるとされた8人(各学科7人、共通講座1人)

が受賞しました。このうち1人は5度目、3人は3度目の受賞となりました。

また、授業形態や教材などの工夫で教育改善が顕著であった教員・グループを表彰する「エクセレントプログラム賞」については、推薦のあった学科の教員全員が受賞しました。

表彰式では、高橋学長から一人ひとりに盾が授与された後、受賞者に対しお祝いと激励の言葉がありました。

受賞された方々は以下のとおりです。

「ベストティーチング賞」(敬称略)

機械工学科
社会環境工学科
電気電子工学科

情報システム工学科
バイオ環境化学科
マテリアル工学科
社会連携推進センター

教授 富士 明 良
准教授 川口 貴 之
教授 黒河 賢 二
助教 岸本 恭 隆
准教授 原田 建 治
准教授 菅野 亨
教授 渡邊 眞 次
教授 有田 敏 彦

「エクセレントプログラム賞」

社会環境工学科教員全員



学長を中央に平成25年度教育優秀者表彰の各受賞者

東北地区進学相談会を実施

(入 試 課)

平成26年度北見工業大学東北地区進学相談会を6月14日(土)(八戸)、15日(日)(盛岡)で実施し、合わせて196人が参加しまし

た。当日は田村淳二副学長から挨拶、本学概要説明の後、学科ごとの個別相談、高校教諭向けの説明、模擬授業等を行いました。



全体説明 (八戸)



個別相談 (八戸)



高校教諭向け説明 (盛岡)



模擬授業 (盛岡)

父母懇談会（春季・北見）を開催

（学生支援課）

「父母懇談会（春季）」を、6月21日（土）に本学講堂を説明会場として、全学生の父母を対象に実施しました。

当日は、全国から172組233人の父母が参加し、まず始めに全体説明会において、高橋信夫学長から挨拶の後、近藤和雄学生後援会会長からは、後援会の活動状況が報告されました。田村淳二副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明がされるなど、様々な情報が父母に提供されま

した。

その後、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職等について質問が出され熱心なやりとりが交わされました。

毎年恒例となっている大学祭に併せた開催のため、参加した父母は、研究室公開など他のイベントも見学するなど好評を博しました。



全体説明会の様子

ブックリユース「本、さしあげます。」を開催

(情報図書課)

6月21日(土)・22日(日)の2日間、大学祭期間中に合わせて、第3回目となる“ブックリユース「本、さしあげます。」”を開催しました。これは、図書館で不用になった本と本学教職員・学生が読み終えた本をリユース(再利用)する企画です。

平成25年度に重複等で不用になった本を本学教職員・学生に無償譲渡した後、地域の皆様をはじめ少しでも多くの方に手に取っていただき、学習や研究に役立ててもら

おうと、およそ1,300冊の不用本他、教職員・学生が読み終えた本、保存期間が切れた雑誌を準備しました。

たくさんの方に来場いただき、その中で121名の方に668冊の本・雑誌が譲渡され、多くの方から「工学の専門書を無料で貰えてうれしい。」との声をいただきました。

来年以降もまた開催し、多くの皆様に喜んで貰える企画にできればと思っています。



来場者が選書する様子

「研究室公開」を実施

(企画広報課)

6月21日(土)～22日(日)に開催された第52回大学祭において、「研究室公開」を実施しました。普段、学外の方が目にする機会の少ない本学の研究内容を、やさしく楽しく紹介するものです。今年は9つのテーマに2日間で小さなお子様からご年配の方まで、延べ1,578の方が来場してくださいました。

来場者の皆さんは、大学で行われている研究の一部に触れるという貴重な体験に、大満足の様子でした。

公開した研究室のテーマ
今年だってQVICで超立体視
土のふしぎ ～ふくらんだり, ドロドロになったり, カベになったり～
色素増感太陽電池について学ぼう!!
光学ワンダーランド
天才小学生プログラマー発掘プロジェクト
きのこがつくる酵素で色を変える
走査型電子顕微鏡の体験 -髪の毛、花粉、先端材料・セラミックスを観察しよう!-
ロボコンのデモンストレーションおよび操縦体験
クリーンなエネルギーを学んで、化学で遊ぼう!!



色素増感太陽電池について学ぼう!!



光学ワンダーランド



きのこがつくる酵素で色を変える



クリーンなエネルギーを学んで、
化学で遊ぼう!!

置戸町第38回人間ばん馬大会に参加 ―地域への貢献―

(社会連携推進センター)

6月29日(日)に第47回おけと夏まつりと同時開催の第38回人間ばん馬大会に参加しました。社会連携推進センターが取り組んでいる地域との連携強化に向けた活動の一環として、昨年に引き続き参加したものです。

置戸町ファミリースポーツセンター横特設会場で、本学の学生6人が本大会の実行委員会メンバーとして活動しました。学生達は競技開始の10時前から終了後16時近くまで、子どもたちが射的を楽しむ出店や、人間ばんばレースで展開されるばんば券景品引き換えなどで、スタッフとして活動しま

した。

さらには、ばん馬レースにも北見工業大学チームとして参加しました。予選のレースでは、経験豊富な強豪チームに引けを取らず、出場した9チーム中4位と健闘し、大会の盛り上げにひと役買いました。

今年の大会では、北見工業大学は大会運営だけではなく、レースにも参加することで、幅広い参画が実現しました。これからも地域における本学存在感向上に向け、地域イベントへの貢献を積極的に進めていきたいと思ひます。



多くの来場者で賑わう置戸町第38回人間ばん馬大会



会場で運営ならびにレースにも参加した北見工業大学学生

図書館防火訓練を実施

(情報図書課)

7月8日(火)に図書館単独では初めてとなる防火訓練を実施しました。

図書館では夜間や土日祝日は非常勤職員の大学院生のみへの対応となるため、その想定のもとで訓練を行いました。

当日は初期消火や消防等への通報のほか、館内を利用していた学生の避難誘導も大学院生が担当しました。

避難が完了した後は、今回の訓練に立ち会っていただいた北見消防組合消防本部から講評をいただきました。また、消火器の使い方をご指導いただき、学生3名が模擬消火を体験しました。

図書館では次年度以降も実際に即した訓練を継続したいと思っています。



訓練の様子

技術セミナー(CPDプログラム認定講座)の開催

(研究協力課)

平成26年度技術セミナー(CPDプログラム認定講座)が、7月11日(金)に本学第1総合研究棟多目的講義室で開催されました。

本セミナーは、地域貢献活動の一環として、土木・建設関係技術者に最新の技術動向及び建設コンサルタントを取り巻く状況等についての理解を深めてもらうために平成23年から実施しているもので、今年で4回目となる建設コンサルタンツ協会の認定講座です。

今年度は北見市の後援を得て、北見市の職員研修としても多数の受講者が参加しました。

セミナーでは、「今後の社会資本整備の

あり方」をテーマに本学社会環境工学科伊藤 陽司准教授をはじめ、本学技術士養成支援講座の講師でもある(株)中神土木設計事務所 牧野 勇治氏、(株)構研エンジニアリング 岩淵 直氏、(株)福田水文センター 林 克恭氏の4人の講師が講演しました。

平日にも関わらず、オホーツク管内や帯広等から設計、測量、コンサルタント関係の技術者や自治体職員・北海道職員など約80人が参加し、社会資本整備の現状や最近の取組など政府の経済施策情報を交えた講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



吉田理事の開会挨拶



熱心に講義を聴く参加者

「学生選書ツアー」を実施

(情報図書課)

図書館では、7月11日(金)、平成26年度第1回「学生選書ツアー」を実施しました。

事前にポスター等により参加学生を募集し、学部学生及び大学院生が8人、ブック・プロジェクト(平成25年11月に発足した読書推進に関する活動を行う学生ボランティ

ア団体)のメンバーが3人参加しました。

学生たちは趣味や資格、一般図書等、各々興味のある図書を選んだ後、その本を選んだ理由をカードに記入し、館内の展示コーナーに選んだ図書とカードを合わせて展示しました。



選書の様子



展示コーナー

技術セミナー「技術士養成支援講座」の閉講式

(研究協力課)

本学と札幌サテライトの2会場で開講していた平成26年度の技術セミナー「技術士養成支援講座」の閉講式を、札幌会場は7月18日(金)、北見会場は7月19日(土)に行いました。

本講座は、本学出身の技術士が講師となり、社会人を対象に実践的な指導により「技術士」の資格取得を支援するものです。平成19年度から開講し、8回目の開催となる今回は、北見会場12人、札幌会場17人、合計29人が受講していました。

本年4月から7月まで合計4回にわたる本講座は、参加しやすいよう土曜日や勤務時間終了後に講義を設定しました。

市内だけでなく札幌会場へは滝川から、

また北見会場へは帯広や旭川から通う受講者もあり、技術士資格の重要性がうかがえます。一度も休まず出席した受講者もあり、その努力には頭が下がる思いです。閉講式では、4回の講義すべてに出席した受講者12人に対し「受講証書」をお渡ししました。

受講者は8月に実施される筆記試験に向け、最後の追込みとなっており、10月の筆記試験合格発表、その後の口頭試験まで、仕事との両立を図りながら試験勉強が続くとのこと。この講座で学んだ成果を十二分に発揮して、最終の3月の口頭試験合格発表時に1人でも多くの「合格」の報告が舞い込むことが期待されます。



受講証書を授与



最終講義風景

第 61 回北見ぼんちまつり舞踊パレードに参加

(企画広報課)

7月18日(金)、北見夏まつりの風物である『北見ぼんちまつり舞踊パレード』に、北見工業大学チームが参加しました。学内に参加募集を行ったところ、学生が留学生を含む75人、教職員が32人、さらに今年は国際交流協定校である韓国の慶尚大学校工科大学から学生及び引率者を併せて13人が参加することとなり、全体では昨年と同様の120人からなる結成チームができあがりました。

当日は、北見に大雨警報が発令され午後から雨に見舞われましたが、いざ、パレー

ドの出発時には雨もすっかりあがり、お祭り日和となりました。日頃着る機会の少ない浴衣を身につけた参加者は、軽快に「サンバ北見ばやし」に合わせて中心商店街を練り歩きました。

今年の舞踊パレードは、昨年より90人ほど少ない31団体、2,800人余りが参加したようです。本学のチームは、団体長の柴野副学長を先頭に、国際交流センター長のナタリー先生や学生の元気なかけ声と活気あふれる踊りは、おまつりを大いに盛り上げていました。



柴野副学長を先頭にパレードする北見工大チーム



活気あふれる学生たち！

テクノトランスファーinかわさき 2014 へ出展

(社会連携推進センター)

7月9日(水)から11日(金)の3日間、公益財団法人神奈川産業振興センター、神奈川県、川崎市が主催し、かながわサイエンスパーク(以下、KSP)で開催された「テクノトランスファーinかわさき2014」に参加しました。

社会連携推進センターでは北見工業大学が進められている様々な研究の広報はもちろんのこと、本学の良さや特徴を広く社会に伝えるための広報活動を行っています。本学は平成22年に、公益財団法人川崎市産業振興財団が取り組む地域を越えた産学連携推進活動の連携大学として「川崎試作開発促進プロジェクト」に加入しました。以来5年目を迎えた今年もその連携の拡大と強化を目的に、また首都圏での大学広報の一環として、昨年に引き続き本フェアへも出展することとしたものです。

本フェアには、125の組織・機関からの出展があり、産学連携部門には本学も含め大学など21機関が参加しましたが、その大半

は神奈川県近隣の大学であり本学は唯一遠方からの参加でした。会場に設けられたコーナーで開催された「技術シーズ提供セミナー」でも、北見地域の環境を含めた大学の特徴を知っていただくための40分間のプレゼンテーションを行いました。定員20人のセミナーでしたが、満席となるほどご興味を持っていただきました。本学のブースにも予想以上の多くの方に訪れていただき、技術広報、さらには大学広報としても参加価値の高い有意義な場となりました。

また、会場となったKSPへの入居企業の中には多数の本学出身者がお世話になっている企業もあり、多くのOBがブースを訪れてくださいました。北見出身者、本学卒業生が川崎地域でも大いに活躍していることを実感した展示会ともなりました。

大学間の連携も含めた川崎地域での連携拡大の良い場として、本展示会には継続的に参加していくことを計画しています。



技術シーズ提供セミナー



北見工業大学ブース

第2回オホーツクまるごと市に参加

(社会連携推進センター)

7月19日(土)、20日(日)に網走の道立オホーツク公園てんとらんどで開催された「オホーツクまるごと市」に参加しました。本イベントには、社会連携推進センターが進めている人材育成事業「新時代工学的農業クリエイター人材創出プラン」(以下、工農事業)の一環として、その受講生のフォローアップと地域食産業への貢献を目的に毎年参加しています。

東京農業大学では、「網走港祭り」等の網走市のイベントにおいて広く学生も実行委員として参加・活動していますが、本イベントでも東京農業大学オホーツク実学センターが中心となり、多くの東京農業大学の学生が実行委員としてその運営を担っていました。学生による地域貢献を実践していくことがこの地域において重要であるこ

とを再認識したイベントでした。

今回は本学の工農事業成果となる開発商品の紹介を行うとともに、今年度から北見市雇用創造協議会「実践型地域雇用創造事業」と連携して進めている「工学連携推進型地域6次産業人材育成事業」の社会人受講生の商品を、北見工業大学発ベンチャーである企業組合北見産学医協働センターを通し展示・販売しました。

会場では、東京農業大学が実施した人材育成事業の成果の一つとして立ち上げられたNPOによる受講生のフォローアップも展開されており、本イベントへの参加は本学の工農事業で輩出した人材のフォローアップへの取組を考える上でも大変参考となりました。



出店の様子



本年度の新企画品 カップシフォン

北洋銀行ものづくりテクノフェア 2014 で研究の成果を広報

(社会連携推進センター)

社会連携推進センターは、北見工業大学で進められている様々な研究を通じた社会貢献の拡大をめざし、研究の成果を広く社会に伝えるための技術広報を行っています。

その一環として、7月24日(木)に札幌のアクセスサッポロを会場として開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2014」において、本学の研究者が取り組んでいるユニークな研究の成果を展示・紹介しました。

本テクノフェアは、毎年開かれている北海道内のものづくり産業を振興するためのイベントです。今年も経済産業省北海道経済産業局をはじめ多くの公組織・企業団体の後援を得て開催されました。スローガンは「～技術と情報が人をつなぐ！ビジネスの広がりをお北の大地から！～」でした。出展は産業界を中心に過去最多の196件となり、その内大学・高専からの出展は12件でした。また展示技術に興味を持ち参加した来場者は4千人以上となりました。

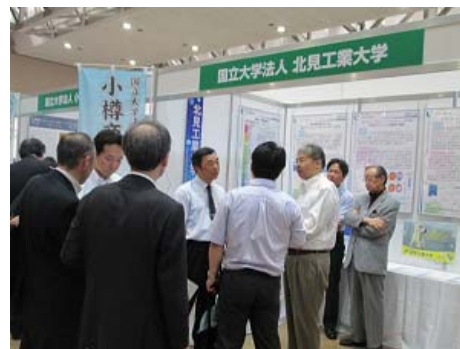
今回本学から紹介した研究は、安価・簡便に道路維持管理、輸送等に活用するため

の研究「車両挙動解析による路面プロファイルのリアルタイム計測」、種々自然・再生エネルギーをローカルに効率的・効果的に成立させるための研究「風力発電を擁するマイクログリッド設計法」、窓ガラスの透過率を電氣的に制御する研究「スマートウィンドウ用電極材料のスパッタ成膜」、人の失った運動機能の再生・獲得を支援する技術の研究「ブレイン・マシン・インターフェイス (BMI) を用いたリハビリ支援機器の開発」、骨との接合性に優れた骨代替材料を得るための研究「簡便な処理で骨適合性チタン材料を製造する新表面処理技術」の5つでした。いずれもエネルギー、環境、医療など、本学が精力的に取り組む領域の独創的な研究です。それらの研究に関心を持つ多くの方々が、本学のブースに足を運んでくださいました。

今回の展示を通じて、本学の特長についても来場者に強くアピールすることができました。本フェアは研究の広報のみならず大学の広報としても、大きな成果を挙げる機会となりました。



開会式の様子



研究成果を展示したブース

オープンキャンパスを開催

(入 試 課)

7月26日(土)、高校生や保護者等を対象に本学の教育研究内容や学修支援環境を紹介することを目的として、オープンキャンパスを開催し、307人が参加しました。

当日は高橋信夫学長の挨拶、田村淳二副学長の大学概要の説明、各系列長による3

系列の紹介の後、参加者は各学科において体験学習等に参加しました。

昼食は在学生に人気のメニューが生協食堂で参加者全員に提供され、午後からも体験学習や個別相談等が行われました。



田村副学長による大学概要の説明



系列説明



体験学習



自由見学



学食体験



個別相談

= 日誌 =

6 月

- 2日 社会連携推進センター運営会議、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 3日 教務委員会、入学者選抜委員会、編入学試験(学力試験入試)出願受付(～9日)
- 4日 教授会、研究科委員会
- 9日 大学院博士前期課程入学試験一般入試(推薦入試併願)出願受付(～13日)
- 10日 教育優秀者表彰式、研究推進機構統括会議 発明審査委員会
- 11日 教育研究評議会
- 12日 経営協議会、学長選考会議、役員会
- 13日 開学記念日
- 14日 東北地区進学相談会(八戸)
- 15日 東北地区進学相談会(盛岡)
- 16日 大学院入学試験出願受付(～26日)
- 21日 大学祭(～22日)、父母懇談会(北見) 図書館ブックリユース(～22日)、研究室 公開(～22日)
- 23日 研究推進機構統括会議、大学院博士後期課程転入学出願資格の事前審査受付(～27日)
- 25日 編入学試験(学力試験入試)
- 30日 就職支援室会議

7 月

- 2日 社会連携推進センター運営会議、国際交流委員会、大学院博士前期課程入学試験一般入試(推薦入試)面接試験
- 3日 教務委員会
- 7日 北見工業大学地域コア運営委員会、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 8日 図書館防火訓練、入学者選抜委員会
- 9日 教授会、研究科委員会、大学院博士前期課程入学試験一般入試(推薦入試併願)選考結果通知、編入学試験(学力試験入試)合格発表
- 11日 学生選書ツアー
- 15日 発明審査委員会
- 16日 オホーツク地域エネルギー環境教育研究会
- 17日 大韓民国慶尚大学校工科大学短期交流研修(～24日)
- 26日 オープンキャンパス
- 28日 大学院博士後期課程転入学出願受付(～8月1日)
- 30日 教育研究評議会
- 31日 前期定期試験(～8月7日)